

日本農業気象学会 2023 年東北支部大会 日程とプログラム

■日程

令和 5 年 8 月 24 日（木）～25 日（金）

■会場

ユートリー（一般財団法人 VISIT はちのへ）4 階研修室（8 月 24 日）

<https://www.youtree.com/index.html>

青森県八戸市一番町一丁目 9-22（八戸駅から徒歩 1 分）

および視察先（8 月 25 日）

■日程

1 日目：8 月 24 日（木）

1. 支部評議員会 11:30～12:30

2. 講演会（話題提供）・一般研究発表会・総会 13:00～14:30

1) 青森県産業技術センターにおける気象変動に対応した試験研究の紹介

（地独）青森県産業技術センター農林総合研究所 研究管理員 木村利行

〃 野菜研究所 研究管理員 藤澤春樹

2) 光植物学研究用 LED 人工太陽光光源システム

東京大学大学院農学生命科学研究科 教授 富士原 和宏

3. 一般研究発表会 14:40～16:50

4. 総会 16:50～17:20

5. 情報交換会

1) 場所：日本居酒屋「松膳」 八戸市一番町 1-1-9

2) 時間：18:30～20:30

3) 会費：5000 円（会場で徴収します）

2 日目：8 月 25 日（金）

現地視察（エクスカーション） 9:00～12:00

集合・解散場所 : 八戸駅西口

視察先 : 八戸市市川地区、六戸町下吉田地区、
青森県産業技術センター野菜研究所

※ 視察先には借り上げ車で移動します。会費は徴収しません。

一般研究発表プログラム

1. 気候変化に伴う降霜・霜害日数の予測

○渡邊明（気候変動研究所）

2. 寒冷地の加温栽培でカーボンニュートラルは実現可能か—イチゴの促成栽培—

○伊藤篤史（青森県産業技術センター農林総合研究所）

3. 東北地方における農業気象諸活動の歴史と現状

○井上聡, 大久保さゆり（農研機構東北農業研究センター）

4. 森林点群データの機械学習による樹木個体部位セグメンテーションと応用

○大場真¹・山田修吾¹・泉正寿²・長谷川匡²・中村省吾³・大西悟³（1 東北工大、2 株式会社ふたば、3 国環研）

～休憩～

5. Exploring Decadal Changes in Drought Characteristics in Indonesia from 1980–2020

○Amalia Nafisah Rahmani Irwan¹・小森大輔²（1 東北大院、2 東北大）

6. Assessing the Impacts of Climate Change and Elevation on Agricultural Potential in Afganistan

○Mohammad Naser Sediqi¹・小森大輔²（1 東北大院、2 東北大）

7. メッシュ農業気象気温データの地形と天候に基づく補正—三戸町の事例—

○伊藤大雄¹・石田祐宣²（1 弘前大農生、2 弘前大院理工）

8. 作期分散を目的とした融雪水代かきによる早春湛直栽培技術の検討

○及川聡子（青森県産業技術センター農林総合研究所）

9. 「北日本における4月・8月の気温の負の相関関係」その後の続き（仮題）

○大久保さゆり¹・井上聡¹・菅野洋光²（1 農研機構東北研、2 農研機構農環研）

===== 一般研究発表にあたってのお願い =====

■研究発表方法

研究発表は口頭で行っていただきます。時間は原則1件あたり13分程度（質疑応答含む）ですが、発表数により若干の変更があります。プレゼンテーションに使用するファイルをUSBメモリなどに入れてお持ちいただくか、事前にファイルを事務局までお送りください。

■講演要旨

発表者は講演要旨を参加人数分30部程度印刷して持参してください。

★作成方法

講演要旨はA4縦置き横書きで作成し上下左右の余白を25mm程度お取りください。演題14pt、本文10.5ptのフォント使用を推奨しますが、本文の構成は著者の自由とします。原則として事務局による修正は行いません。一般研究発表では目安2ページ以内とします。

★支部会誌「東北の農業気象」への掲載許可と要約文ご送付のお願い

支部大会終了後、発表者の皆さまには講演要旨のPDFファイルと、講演内容の要約(250字程度)を事務局宛にお送りいただきます。講演要旨を支部会誌「東北の農業気象」に、要約は本会誌「生物と気象」上に支部会報告として掲載させていただくことをご了承ください。